

# 平城宮いざない館

— PC山形梁の館は、平城京の世界へ「いざなう」 —



「あをによし 寧楽の京師は咲く  
花の 薫ふがごとく 今盛りなり」

青丹が美しい奈良の都は、咲く花の  
匂うかのように今が盛りだーという  
万葉集に収録されている和歌を詠ん  
だのは、約1300年もの昔、遣隋使  
で有名な小野妹子の孫に当たる小野  
老という人物です。

元号の「令和」も出典が万葉集であり、  
近年注目を集める奈良県奈良市。かつ  
て日本の都がここにありました。710  
年(なんと)素敵な平城京と年号を丸暗  
記した学生時代を思い出すのですが、約  
80年の短い期間でしたが確かに壮麗な  
都が奈良に存在したのです。

小野老の和歌から伝わってくる平城  
京の繁栄ぶりは、極彩色で彩られた宮  
殿や市民で賑わう市場、カラフルな装束  
で着飾った貴族がのんびり物見遊山す  
る、豊かでさらびやかな情景がまぶたに  
浮かんできます。

しかし、1300年もの年月が経ち  
その栄華も今や昔。平城宮の跡地は後  
世再建された大極殿(2010年竣工)  
と朱雀門(1998年竣工)を残しその  
他は広大な草原となり、われわれに榮  
枯盛衰を感じさせてくれます。

この場所は現在、「平城宮跡」として  
特別史跡に指定され、世界遺産「古都  
奈良の文化財」の構成資産のひとつでも  
あります。そして、この歴史・文化遺産  
を保存・活用する目的で国営平城宮跡

歴史公園が整備されています。公園では  
古代の歴史・文化を知り、体感していた  
だくための展示や第一次大極殿院の復  
原整備を行っている最中ですが、展示の  
拠点機能を担うのが今回ご紹介する  
「平城宮いざない館」となります。

平城宮いざない館は平城宮跡全体の  
ガイダンスおよび公園の利用案内や管  
理運営の拠点となる「ガイダンス棟」と、  
平城宮跡の出土品や資料の展示を行う  
「展示棟」の2棟で構成されています。

建物外観は平城宮跡歴史公園の景  
観を考慮して建物高さを抑え、切妻屋  
根を採用することで平城宮跡の主役と  
なる大極殿や朱雀門を引き立たせてい  
ます。

建物架構の計画にあたっては、開放  
的な展示空間の実現と、埋設されてい  
る遺構への影響に配慮して、最大スパン  
をガイダンス棟は17・1m、展示棟は12・  
6mとしています。構造形式は、気密性  
や堅牢性を重視してRC造で計画し、  
切妻屋根デザインの実現と柱のない展  
示空間とするため、山形ラーメン架構  
にプレストレストコンクリート(以下、  
PC)梁が採用されました。建物は、2  
つの山形ラーメン架構をフラットな  
ラーメン架構で繋ぐ計画であり、展示  
棟については柱・杭本数削減を図るため  
にフラットな架構にもPC梁が採用さ  
れています。

山形ラーメン架構は、一般的に水平部



▲配線作業

材となるタイバーを構築することで、鉛直力による柱部材の外側へ開こうとする力を抑えることが可能となります。一方、本計画では、最高高さの制限を受けるため、必要な天井高さの確保を考えると、必ずしも理想的な配置でタイバーのような水平抵抗部材を設けられません。そこで内ケーブル方式となる現場打ちPC梁を利用することでこの柱部材が開こうとする力の低減を図っています。

施工面では、フラットなラーメン架構をPC緊張前に打設すると、その部分で変形が拘束され、2つの山形ラーメン架構をつなぐ梁および床に想定外の軸力が作用する恐れがあります。そこで、まず山形ラーメン架構のコンクリートを打設し、PC緊張を行った後でフラットなラーメン架構のコンクリートを



▲展示館内部

を打設しています。また柱側面からPC緊張作業を行うと軒先に後打ち部が生じて、コンクリートに色違いが生じてしまうため、梁の頂部からPC緊張する計画としています。それにより、ケーブルの緊張力の摩擦損失が少なくなるような配線となり、梁頂部の梁せいの抑制も可能にしています。さらに、固定側定着具は軒先の梁内に納めることで、柱の配筋との納まりを容易にし、出の長い軒先の長期的な変形抑制にも配慮しています。PC緊張作業は、頂部ある各2ケーブルずつのPC鋼より線を各1ケーブルずつ段階的に同時緊張する計画としました。これにより緊張作業効率を落とさずにバランス良く躯体にプレストレスを導入することができ、想定外の躯体ひずみやひび割れを防止することにより躯体品質の向



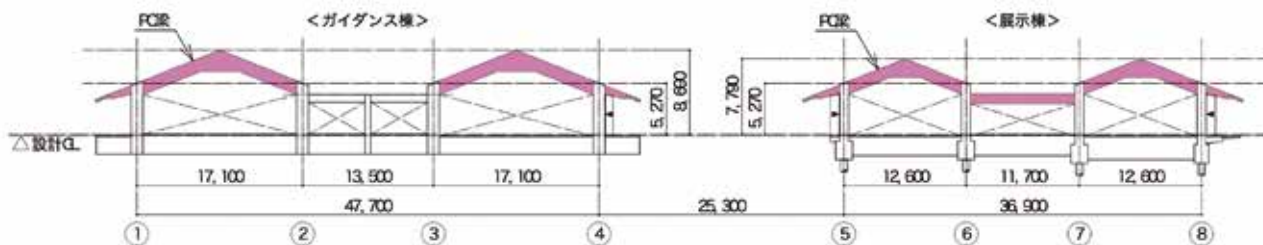
▲平城宮いざない館と朱雀門

上を図りました。

平城宮いざない館は、1300年前の奈良時代にタイムスリップするような体験ができる復元模型や大型映像展示や出土品や発掘調査の展示を通じて、当時の平城京を「見る」「知る」「感じる」ことができる施設となります。

この施設は朱雀門前にある「朱雀門ひろば」に位置しており、現代に生きるわれわれを奈良時代へ「いざなう」役割で活躍されることでしょうか。平城京も平安京も同じく、朱雀門とは都の玄関口ですので、いざなう施設としてはまさにふさわしいネーミングと立地だと思えます。なかなか気軽に旅ができない情勢ではありますが、いつしかこの地を訪れ悠久の時を遡る旅にいざなわれてはいかがでしょうか。

(オリエンタル白石(株) 吉川(仁) 杉)



■ 建築概要	建築名称	平城宮跡展示館(平城宮いざない館)
	建築地	奈良市二条大路南3丁目215番7他
	建築主	国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所
	設計	松田平田設計・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体
	監理	(株)川建築事務所
	施工	(株)興村組
	PC施工	オリエンタル白石(株)

工期	平成27年8月～平成29年7月
階数	地上2階
建築面積	7,289.7㎡
延床面積	6,755.5㎡
構造種別	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
PC使用箇所	山形ラーメン架構の梁、他(上図着色部分)
	平成30年度PC工学会作品賞(建築部門)受賞